

勲五等
双光旭日章

市議会に二二〇年

仁保 幸氏

元日光市議会副議長仁保幸氏（清滝安良沢町一七三〇一〇二）が、勲五等双光旭日章を受章されました。



同氏は、大正四年十一月十八日生まれ、七十三歳。昭和三十八年から五十八年までの永きにわたり、市議会議員。この間、四十六年から二年間副議長を務め、地方自治の振興発展と住民福祉の向上に多大な功績を上げられました。

黄綬褒章

彩色一筋38年
寺山 四郎氏



東照宮など社寺の文化財の保存修理に絵筆を振るい続ける彩色工寺山四郎氏（清滝一〇一四）が、黄綬褒章を受章しました。
同氏は、大正十三年一月三十一日生まれ、六十四歳。昭和二十六年にこの道に入り、彩色一筋に三十八年。この間、東照宮の表門や陽明門、二荒山神社の拝殿、輪王寺の三仏堂など建造物のほとんどの彩色を手がけました。

寸描

今年の十月に、栃木県として七つの市町村を対象とした「リゾート法」関連の開発、振興事業が、国土庁



始め六つの国の機関で承認され、民間活力を大きく導入した型で実施されることとなった。勿論日光市もその一つである。

全国各地でこの種の事業が行われ、ば、当然のことながら、地域の特性を生かしたものでなければ、振興策にはつながらない。

日光の場合は冬季に限らず、スポーツ施設を中心に考えられることになると思うが、ここでは是非とも考慮しなければ

市長室を訪れた中国のお客さん（左から二人目）と

ならないのは、民間活力の導入の中には地元の各位の参画を願うと共に、地元の充実発展に寄与することである。

間もなく、議会を始め関係の方々との協議をしながら実現に向けて始動することと思うが、理解と協力をお願いしたい。

今年の紅葉は夏の長雨で余り冴えないが、天候だけは準縄であって欲しいものだ。

日光市長
斎藤善蔵

市役所（本庁）
2・3階の窓口事務を
1階（市民課）で受け付けます

健康生課・税務課など）三階（建設課・水道課など）の担当窓口に行かなくても、

市役所（本庁）では、身体の不自由な方や、お年寄りの皆さんが、色々な届出や事務手続きをされる場合、一階の市民課窓口にお申し出ください。お気軽に市民課窓口にお申し出ください。



身体障害者福祉週間

12月9日
～15日

